

Museu da Quinta de Santiago

について



写真: CM Matosinhos

アートを通じてマトシーニョスとレサダ

パルメイラの歴史的記憶を保存し、広めることが、この博物館の中心的な使命であり、自治体によって管理され、1996年4月2日に発足しました。この博物館は、歴史的な建物(おそらく1896年に完成)にあり、イタリア人建築家ニコラ・ビガーリアのプロジェクトにより、サンティアゴ・デ・カルバリーヨ・エ・ソウザ家の住居として建てられました。それは世紀の終わりにマトシンホス・リサ市で行われました。XIXと世紀を通して、XX.2003年以来、MuMaの創設博物館の1つであるポルトガル博物館ネットワークを統合しています - マトシンホス博物館ネットワークと2007年以降のICOMのメンバー。2009年以来、Quinta de Santiagoは3つの建物で構成されています。19世紀後半のインテリアの特徴的な雰囲気に加えて、2つの博物館フロアで構成される博物館。XIX、特許展を見つけることができます。Espaço Irene Vilar、多目的講堂と教育サービス用のスペースを備えています。ヒガンテの滝が設置されているカサドボスケは、約15平方メートルで、20世紀初頭からのレサの代表的な再建です。XX - ホセ・モレイラによって建設され、博物館に寄贈されました。博物館を囲む広い庭園では、訪問者はシザ・ピエラ、ルイ・アナホリー、ラゴア・エンリケスの彫刻作品を見ることができます。

問い合わせ先

Rua de Vila Franca, 134 4450-802 Leça da Palmeira

電話: +351 22 939 24 10

ファックス: museusantiago@cm-matosinhos.pt

ウェブサイト: <https://www.cm-matosinhos.pt/servicos-municipais/cultura/museu-da-quinta-de-santiago>

ソーシャルネットワーク <https://www.facebook.com/museuquintasantiago> <https://www.instagram.com/museuquintadesantiago>

特色とサービス

ショップ
ガイドツアー

バリアフリー案内

身体の不自由な方でもアクセス可能

身体障害者専用駐車スペース

入口へのバリアフリー経路

- 一部

バリアフリー入口

- 一部

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア

建物内のバリアフリー通路

- 全部

バリアフリーのエリア/サービス

- 店舗
- 身体障害者用設備
- ホール

バリアフリー情報

- 案内板

支援スキル

- 視覚障害
- 聴覚障害
- 運動障害
- 精神障害

利用可能な支援プロダクト/サービス

- 視覚障害
- 聴覚障害
- 運動障害
- 精神障害

その他の情報

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。